



福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 (略称:横浜市社協)



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集 ヨコハマでともに成長しよう 特別支援学校とプロラグビーチームの出会い




福よこクイズプレゼント
 横浜キャノンイーグルス
 オリジナルグッズ&
 今日のかいじゅうブローチ
 →詳しくはP7で

横浜キャノンイーグルスのラグビー公式戦を観戦した松野さんご家族
(日産スタジアムにて:4月15日撮影)
→詳しくは特集で

もくじ

福祉の仕事
教育相談コーディネーター p4



現役大学生が取材しました

Let's try
ボランティア

はじめの一步!
ボランティア入門講座 p5

市社協情報

ハートメイド・
よこはま障害者共同受注総合センター わーくる
..... p6

福祉よこはま
最新号と
バックナンバー



特別支援学校と プロラグビーチームの出会い



プロラグビーチームの横浜キャノンイーグルス(以下、イーグルス)からの「社会や地域に貢献したい」「試合観戦に招待するだけでなく、ラグビーの精神や楽しさを伝えたい」という相談を受け、横浜市社会福祉協議会はイーグルスと神奈川県立みどり支援学校(以下、みどり支援学校)をつなぎ、イーグルスの思いが実現できる企画を一緒に考えました。今年2月、イーグルスのスタッフがみどり支援学校を訪ねてふれあい授業を行い、4月にはリーグ公式戦を一緒に観戦しました。この企画は、学校、児童生徒・保護者、チーム関係者が感動を共有し、新たな楽しみや喜びが広がる機会となりました。

横浜キャノンイーグルスの思い



YOKOHAMA CANON EAGLES

キャノングループの
企業理念
「共生」

今回の企画の目標

- 1 誰もがラグビーを観戦できる環境をつくり、仲間と協力することや挑戦することの喜びを伝えたい
- 2 交流や体験を通じて一緒に成長できる場を作りたい

掲げた目標に近づきました

みどり支援学校でのふれあい授業は、校長先生も体験に加わってくださるなど非常に盛り上がりました。観戦後は「参加して良かった」「家族でまた観戦に行きたい」と喜んでいただきました。ラグビーを通してホストエリアである横浜の方々と一緒に活動できたことを嬉しく思います。活動中も生徒のみなさんにポジティブな変化が見られ、ラグビーの精神が一人ひとりの笑顔につながっていると感じることができました。今後もラグビーの魅力伝える機会やアイデアを考えていきます。イーグルスとの出会いが、暮らしを豊かにできるきっかけになれば嬉しいです。



事業を企画した
イーグルスの
おたたく
和田拓さん

バスタオルに生徒が乗り
イーグルスのスタッフが引っ張ります
力強さを体感しました



マットレスに全身で飛び込みトライ!!
体が浮く初めての体験です!



イーグルスのスタッフが
ラグビーの精神を伝えます



生徒・保護者席の
すぐ近くで

リーグ公式戦当日、選手が実況解説をしました

ラグビーやイーグルスを身近に感じていただき、試合観戦を通じた親子の交流など、よりよい未来のきっかけを作りたいです。選手として企業理念の「共生」を意識し、イーグルスに関わる全ての方が幸せになる社会を願っています。

きれこうへい
イーグルスメンバー 喜連航平選手▶

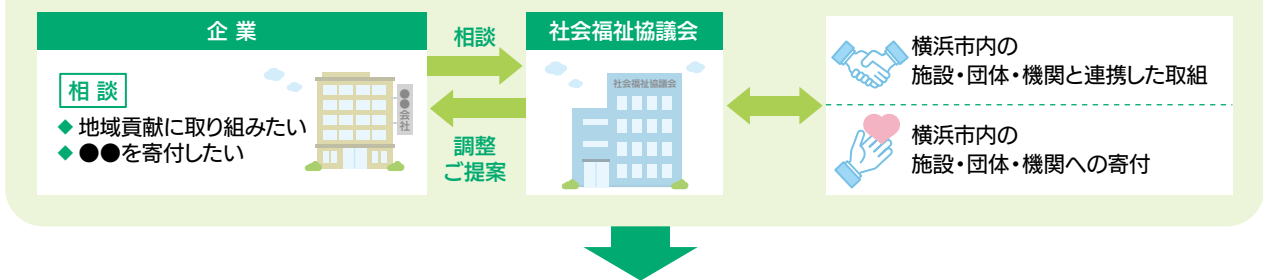


試合の実況解説を通して皆さんと一緒に過ごしました。ラグビーの魅力を感じてもらえたら何よりです。「わかりやすく、見ていて楽しかった。イーグルスの裏話も聞けて興味深かった」という言葉もいただき嬉しい気持ちでいっぱいです。これを機にラグビーに、イーグルスに夢中になっていただきたいです。

なかがわかずま
イーグルスメンバー 中川和真選手

横浜市社会福祉協議会は、企業の地域貢献活動を支援します。

企業等の思いや強みを活かしたコーディネート



地域共生社会の実現と横浜の福祉課題解決へ

● **地域共生社会**とは…制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。

リーグ公式戦を観戦

児童生徒も保護者も、先生も、ラグビーの楽しさを実感

日産スタジアムにて
(4月15日)

選手の実況解説がイヤホンから聞こえています



息子は人見知り、場所見知りでもあるので、学校の友達と一緒に観戦が出来て安心でした。

試合を観戦する表情や動きから、喜んでいるのが分かりました。



さまざまな体験を通して世界観を広げ、視野を広げて欲しいです。



今回の体験が成長へとつながりました

ボールやユニフォームに触れ、ルール・マナーを知り、試合も観戦できた今回の体験が、**児童・生徒の新しい趣味や関心を引き出し、余暇の幅を広げてくれた**と感じています。出かけるにもつい周りに気がつかってしまう家族が、試合に熱中する子どもの変化を受け止め、次は自分たちで観戦に行ってみようという気持ちになってくれたのが嬉しいです。イーグルスのはっぴを着て来場者にプログラムを配った生徒は「頑張った」と満足げな表情を見せていました。保護者にとっても我が子の成長は喜びになったのではないかと思います。

みどり支援学校 教育相談コーディネーター 田中心美先生 ▶

来場する大勢のファンにプログラムを手渡ししました



ラグビーの精神を大事にしてほしい

ラグビーのパスは仲間の顔や動きをよく見て、ボールをつないでいきます。イーグルスのスタッフが先生役となったふれあい授業で生徒たちの表情が変わりました。ラグビーは「人を思いやるスポーツ」です。**相手や仲間を尊重したり、感謝とお礼の気持ちを持つというラグビーの精神は、これから学校を巣立っていく全ての生徒たちに大事にしてもらいたい**と思いました。

◀みどり支援学校 高等部担任 小泉浩子先生



問い合わせ先

企業の地域貢献活動に関するご相談は横浜市ボランティアセンターまで
〒231-8482 神奈川県横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター8F
☎045-201-8620 FAX:045-201-1620 E-mail:yvc@yokohamashakyo.jp

横浜 ボラセン 企業の地域貢献 検索





神奈川県立みどり支援学校

教育相談コーディネーターの

たなか しんみ

田中心美さん に聞きました

現役大学生が取材しました

子どもを「支援する人を応援する」。
保護者や教員を支え
子どもたちの成長を喜べる仕事です。

この仕事を始めたきっかけ

- ▶ 県立の普通科高校で国語の教員を20年近くしていました。クラスに長期入院した子がいて、入院中の学習支援や個人の状況に合わせた教育に関心を持つようになりました。より近くで一人ひとりと密に関われる特別支援学校に異動を希望して、担任教員を4年経験した後、教育相談コーディネーターとなりました。

日々の仕事

- ▶ 本校の児童・生徒や保護者、教職員からの相談を受ける校内支援と、地域の方々から特別支援教育や障害理解について相談を受ける校外支援をおこなっています。地域の小・中学校、高校の先生方から相談を受けて訪問し一緒に改善策を話し合う巡回相談や、電話相談、来校相談などもしています。また、地域との連携を大切にしており、地域や社会に特別支援学校や子どもたちのことを知ってもらう役割があります。キャンノイーグルスとの取組※もその一環です。※特集をご覧ください

心がけていること

- ▶ 支援する者としての「立場」です。支援をしすぎて、教員や保護者の「支援力」を奪ってしまわないよう、自分たちで解決のアイデアを出してもらったり、相談の背景にも思いを巡らせ、否定をしないで話を聞くことも大切にしています。子どもの立場や状況に立ち、「どのように感じているか」に目を向けるようにしています。

喜び、やりがい

- ▶ 担任教員だった時は、他の教員と一緒に、子どもたちに必要なことを探して工夫しながら関わることが喜びでした。教育相談コーディネーターへの打診を受けた時、子どもと直接関わる機会が少なくなると思いましたが、今は他の教員が目を輝かせて子どもたちの成長を話してくれる時や、一人ひとりの活動の場が広がっていくことにやりがいを感じています。

この仕事に興味のある人へ

- ▶ 特別支援学校の子どもたちは小学校から高校までの学校生活の中で、時間をかけて様々なことを学んでいくので、成長にじっくり寄り添うことができます。小学部だった子が高等部になり、できる事が増えていたり、職業カリキュラムで現場実習している姿を見ると感慨深くなります。子どもたちの発達を一緒に喜べる仕事です。

「教育相談コーディネーター」とは

神奈川県において、「自らの力では解決することが難しい課題（教育的ニーズ）を抱えている」すべての子どもに適切な支援が行える学校教育を目指す「神奈川の支援教育」の考え方に基づき県域の公立小・中学校及び県立学校に配置されている。

神奈川県立みどり支援学校

昭和53年4月に小中学部が開校し、その後、高等部、新栄分教室設置後、令和5年4月にみどり養護学校から現校名に変更。現在、小中学部、高等部で合計227名の児童・生徒が通学。地域の小・中学校、高等学校や関係機関と連携し、支援教育のセンター的機能を持つ。



令和5年度
神奈川県立みどり支援学校
教育相談コーディネーターの3人
左が田中先生

学校説明会で、特別支援学校のセンター的機能について説明します



大学生の取材体験

今回の「福祉の仕事」は、若い世代と「福祉よこはま」がつながるきっかけづくりとして、大学生による取材体験を実施しました。お二人の感想（編集後記7ページ）もご覧ください。



▲左から山村陽満里さん、鎌野真美さん

横浜市内の福祉人材に
関する求人情報

横浜市介護人材関連情報
ホームページ



Let's try
ボランティア



はじめの一步! ボランティア入門講座

コロナ禍により制限されていたボランティア活動も徐々に再開しています。今号では、横浜市内のボランティアセンター等が実施した、ボランティアを始めたい方を対象とした講座を紹介します。

神奈川区ボランティアセンター 「ボランティア入門講座」

〈開催日〉奇数月第3水曜日 10:30~12:00

〈場所〉はと友神奈川(横浜市神奈川区反町1-8-4)

※開催日時、講座の内容は変更する場合があります。

1 自己紹介

参加者全員でお名前、お住まいの地区のほか、講座に参加したきっかけを話しました。



仕事を退職したので、次は誰かの役に立ちたいと思い、参加しました。

2 講義

神奈川区ボランティアセンターや移動情報センター※1についての紹介、冊子「ボランティアのたまご」※2を見ながらボランティア活動の4原則や、活動をするうえでの心構えなどの話がありました。



3 体験

ミニプログラムとして車いす体験を実施。操作方法を学んだあと、参加者でペアを組み、車いすを押す体験・乗る体験をしました。

4 最後に

全員で感想を共有し、ボランティア登録をして終了しました。全体を通して参加者同士の会話も弾むようになりました。

※1 移動に困難を抱える障害者等からの相談に応じて、支援制度の案内や、サービス事業者等の紹介・コーディネートを行う窓口。移動支援に関するボランティア人材の発掘、育成等も実施。

※2 初めてボランティアをする方に向けた冊子。横浜市社会福祉協議会にて210円(税込)で販売。



エレベーター内の鏡は、中で反転しなくても後ろが見やすいように設置してあるんですよ。

車いすに乗っていると歩いているときよりスピードが速く感じますね。



講座参加者の声

- 趣味の家庭菜園を活かした活動ができると嬉しいです。
- いろいろなボランティアがあることがわかりました。まずは、できることからチャレンジしてみたいです。

とつかボランティアセンター × とつか区民活動センター 共催 「ボランティアのいろは」

〈開催日〉毎月10日

(とつかボランティアセンター、とつか区民活動センターが隔月交代で実施)

※開催日、講座の内容は変更する場合があります。

とつかボランティアセンター

ボランティア活動についての説明があった後、自己紹介を兼ねたカードゲームを使って自分ができることについて話し合いました。

その後区内のボランティア団体を紹介し、どんな活動がしたいのか皆さんで考えました。



とつか区民活動センター

はじめに「交流会のような形で進めていきます」との挨拶があり、参加者同士が話しやすい雰囲気の中で実施していました。

講座終了後には、参加者同士が連絡先を交換し、ボランティア活動に参加する約束をしている姿も見受けられました。



各区のボランティアセンターは、ボランティアを始めたい方の一步を応援し、相談に応じていますので、お気軽にお問い合わせください。

横浜市ボランティアセンターでは、「ボランティアのたまご」の販売のほか、初めてボランティアをする方に活動の心構えなどをまとめた「やってみよう!ボランティア」を無料でお渡ししています。



各区のボランティアセンターはこちら

横浜市内18区
社会福祉協議会

ホームページはこちら▶



この記事に関するお問合せはこちら

横浜市
ボランティアセンター

ホームページはこちら▶



障害のある方々の、社会参加の機会拡大や工賃向上につながります

ハートメイド

ハートメイドでは、地域作業所などの自主製品を掲載したカタログで、通信販売を行っています。カタログには、お菓子・家庭雑貨・アクセサリーなど300点以上の商品が掲載されています。(カタログはホームページでご覧いただけます。)



【問い合わせ先】
障害者支援センターハートメイド担当
☎045-681-1131

ホームページはこちら



よこはま障害者共同受注総合センター わーくる

障害者事業所へ、作業やイベントでの出店などの依頼ができるのをご存じですか？

- 例えば
- 自治会の回覧板の準備や広報紙のポスティング
 - イベントでの出店 ●郵便物の封入封かん
 - 会社へのお弁当の配達

事業所により、できる内容や条件、金額などが異なります。まずはご相談ください。



【問い合わせ先】
よこはま障害者共同受注総合センター わーくる
☎045-306-9910

ホームページはこちら



賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和5年4月1日～7月16日 新規受付・継続受付分

団体会員

- 株式会社 cielo azul 様
- ユークス総合建築 株式会社 様
- NPO法人 そうの歌 様
- 特別養護老人ホーム 今宿ホーム 様
- モービルオート 株式会社 様

- 有限会社 アーバンハウス 様
- 大黒倉庫 株式会社 様
- 株式会社 江戸清 様
- 丸五運輸 株式会社 様
- 株式会社 エースプラン 様
- 横浜商工会議所 様

個人会員

- 相澤 直樹 様
- 中野間 誠 様
- 山田 篤 様

- 中丸 良久 様
- 高橋 昌三郎 様
- 星崎 清美 様

賛助会員・
賛助会費の
ご案内



【問合せ】横浜市社会福祉協議会 総務部
☎ 045-201-2096

みんなのきもち ありがとう

みなさまからの寄付は、地域の助けあい、
支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワーク

磯子区を中心に「地域でのつながり、仲間づくり」を大切に、「誰一人取り残されない社会の実現」「一人ひとりが自分らしく輝ける地域コミュニティ」を理念とし、まちづくりのコーディネーターとして活動しています。子育て支援、障がい理解、多文化共生、高齢者の居場所づくりなど、地域からの声や課題に合わせて活動をひろげています。



▲小学校で実施した「人権・福祉教育プロジェクト」の様子

お礼のメッセージ

ふれあい助成金を活用させていただき「人権・福祉教育プロジェクト」を実施することができました。当プロジェクトでは、「ちがいを知ること」により、互いを認めあえる関係づくりが進むと考え、小学校での出前講座を中心に活動しています。継続してこのような事業を実施していくことで、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会につながると信じています。
今後とも応援をよろしくお願いたします。

横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています
☎045-201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。この寄付は「ヨコ寄付」の取組等で使われています。
令和5年4月1日～6月30日受付分(受入順)

金銭寄付者 (個人)

- 本田 桂子 様
- 川口 ミサオ 様
- よこはまシニアボランティアポイント登録者 様
- 富士松 延治太夫 様

(企業・団体)

- 横浜信用金庫 理事長 大前 茂 様 (4件)
- 株式会社 メモワール 様
- 汲沢電設 有限会社 様 (3件)
- 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 様
- MAC&BPミッドランド税理士法人 様
- ふれあいチャリティバザー実行委員会 様

- 横浜中央ライオンズクラブ 様
- KDDI 株式会社 南関東総支社 様
(匿名寄付) (49件)

物品寄付者 (企業・団体)

- 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 様 (2件)
- 宮内建設 株式会社 様
- 公益社団法人 生命保険ファイナンシャル
アドバイザー協会 様

(匿名寄付) (3件)

ヨコハマ寄付本寄付者

- (横浜市社会福祉協議会運営施設等)
- 横浜市社会福祉センター
利用者一同 様
 - 横浜市麦田地域ケアプラザ 様
(匿名寄付) (57件)

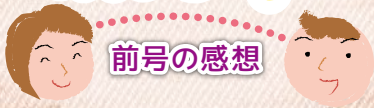
ヨコ寄付

※ヨコ寄付は、「ヨコハマで、すぐヨコへ。」をコンセプトに、本会への寄付金を活用し、既存の制度やサービスでは対応できない課題の解決を目指す取組です。

詳細については
こちら▶



みんなの声



前号の感想

若い頃、国際交流団体(主にアジアの国の研修生対象)で活動していました。特に精神的な所をサポートすることにやりがいを感じていました。YOKEの活動を応援します。
(旭区 K.F)

遺贈(寄付)について、亡くなった後にできる寄付先を見つけるとっかかりができました。
(港南区 S.S)

ボラセン情報「出会いの場」について。私の息子も作業所に通っており、いろんな人に支えてもらっています。出会いはとても大事な経験になり、これからは沢山の人の世話になると思います。
(保土ヶ谷区 ケイコ)

プレゼント欄に興味を持ちました。普段から障害福祉サービス事業所さんが作成しているパンやクッキー、小物などが好きで、よく購入しています。
(保土ヶ谷区 はまっこ)

海外の人に浴衣を着てもらおうことで、日本伝統文化の良さを広めることができ嬉しく思いました。私も浴衣が大好きで一緒に盆踊りやお祭りに参加できたら楽しいと思いました。
(戸塚区 A.K)

ケーエルイー・テンコール株式会社の企業の特徴を活かした地域貢献活動は、こどもたちの興味、関心になったことと思います。楽しそうな講座は、大人のわたしも大変興味深いです。
(泉区 J.S)

福よこクイズ

ご応募・ご感想
お待ちしております!

スペシャルセットプレゼント

「横浜キャノンイーグルスオリジナルグッズ」& 「今日のかいじゅうブローチ」

特集で紹介したイーグルスのマグネットと表情豊かな「今日のかいじゅうブローチ」のセットです!一つひとつ表情が違うブローチは、みなとみらいにある障害事業所「仕事処アニミ」のメンバーが手作りしています。



デザイン・色はおまかせください

「福祉よこはま」は横浜市社会福祉協議会が年4回発行している情報誌です。社会福祉協議会は略して「〇〇」と言います。
(漢字2文字)

前号207号「福よこクイズ」の答えは、
Q1:ラウンジ Q2:多文化 Q3:いぞうでした。
たくさんのご応募ありがとうございました。

「みんなの声」に掲載された方を含み、抽選で**15名**の方に**プレゼント**を差し上げます。締切:令和5年10月27日(金)必着

応募方法 はがき・FAX・Eメール・応募フォームにて、下の項目をご記入のうえお送りください。

応募先

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協「福よこクイズ」係
(FAX) 045-201-8385
(Eメール)
fukuyoko@yokohamashakyo.jp



▲「福よこクイズ」
応募フォーム

項目

- クイズの答え
- 郵便番号・住所
- 氏名(ふりがな)
- 年齢
- 電話番号
- 福祉よこはまの入手方法
- 興味のある記事の感想
- 福祉よこはまの入手回数
- 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否
(匿名希望の場合はイニシャルを記載)

【個人情報取扱】

※応募に関する個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

＜Facebookのご案内＞

本会ボランティアセンター Facebook では、ボランティア情報を紹介しています。



私たちが取材しました ～現役大学生の取材体験(福祉の仕事4ページ)～

普通科高校や担任の先生とは違う視点で「支援」をしていらっしゃる方がいることを知り、とても勉強になりました。社会の中で見えにくい子どもたちや先生の実存について、多くの方が知る機会を持てればと思います。(鎌野真美さん)

今回初めて教育相談コーディネーターという仕事を知りました。現場で働く田中先生から「大人を支えることで子どもたちを支える」というお話を伺い、改めて支援のあり方を考える貴重な機会となりました。(山村陽満里さん)



田中先生の話に耳を傾けて...

編集後記



「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。



福祉よこはま
ずっとかいて

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

＜発行＞
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX: 045-201-8385
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL: https://www.yokohamashakyo.jp

＜デザイン＞
株式会社 オールスタッフ
次号▶No.209
令和5年12月発行予定

広告

アナタも身近な「見守りの担い手」に!

例えば ご近所同士で契約トラブルの情報提供
消費者被害で困っていたら横浜市消費生活
総合センターを案内

高齢者に多い消費者トラブル

- お試しのつもりが定期購入
- 無料点検からの強引な屋根工事勧誘
- トイレ詰まりで思いがけず高額な請求

消費生活相談電話

TEL.045-845-6666
FAX.045-845-7720



横浜市消費生活総合センター

令和5年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償		
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

<引受幹事> 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)